

# 熊本大学教養教育実施要綱

平成 29 年 6 月 22 日  
大学教育統括管理運営機構

## 【教養教育についての考え方】

本学の教養教育の基本的な考え方は、諸学問を通して、学問観、社会観、死生観（宗教観）、国家観、自然観等の、ものの考え方や判断の規準となる普遍的な概念を身に付けるとともに、その学修過程において、学生が自らの人格を形成し、グローバル化してゆく地域や社会の発展に積極的に寄与できる人間性豊かな人材の養成にある。

## 【教養教育の目的】

- ◆ 成熟した国際社会を生き抜く知性と人間力の涵養
- ◆ 多様な文化や価値を受け入れる包容力、共感力および判断力の涵養
- ◆ 学問的知見を自らの知に変換する力（知力）の涵養
- ◆ 表現手段としての情報およびコミュニケーションスキルの涵養

## 【パッケージ制の導入】

教養教育の質保証や体系的な学びの観点から、選択科目に独自の教養教育システムである「パッケージ制」を導入する。パッケージ制度の内容は以下の通りである。

- ◆ 教養教育におけるリベラルアーツ科目と現代教養科目からなる複数の科目をパッケージ化（6 単位）することで教養教育科目を体系化する。
- ◆ 学生は、複数のパッケージの中から 1 つを選択し、そこで開講される約 10 科目の中から 6 科目（単位）を選択必修する。
- ◆ 開講される科目は、すべて 1 単位とする。
- ◆ 選択必修化することにより、学生の受講機会を保証する。
- ◆ 科目のスリム化と教育内容の高度化を目指し、質の保証を実現する。
- ◆ 各学部等における教養教育の履修方針および要望を見直すことにより、履修指導の効率化を図る。

## 【教養教育に於ける科目提供の指針および留意点】

- ◆ 学術性、学際性、体系性を担保する。
- ◆ 専門教育の補完ではなく、学生自らの人格形成に資するものとする。